

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2024年10月～12月期)

目次

景況D I レポート	・・・ 1
製造業	・・・ 2
卸売業	・・・ 3
小売業	・・・ 4
サービス業	・・・ 5
建設業	・・・ 6
不動産業	・・・ 7
特別調査	・・・ 8
さわやか信用金庫独自調査	・・・ 9
各種統計指数	・・・ 10



第68号 2025年2月

夢と未来のサポーター

 さわやか信用金庫

景況DIレポート

2024年10月～12月期（第3四半期） NO. 68

調査方法について

製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。

当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。

2024年度第3四半期を2024年度第2四半期と比較した実績と、

2024年度第4四半期を比較した見通しを調査したものです。

特別調査(515先)では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。

独自調査(505先)ではさわか信用金庫独自のテーマでアンケートを実施しています。

3ヶ月ごと(毎四半期)にレポートを作成しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	59	11	100	21	14	15	220
5～9	41	8	21	16	13	6	105
10～19	31	8	6	14	10	2	71
20～29	11	3	8	10	11	3	46
30～49	11	3	3	15	8	1	41
50～99	13	3	4	4	3	1	28
100以上	6	0	0	0	0	0	6
計	172	36	142	80	59	28	517

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40% - 30%」= 10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、『ビールは夏に売れる』『ボーナス時期には消費が増加する』等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-2.3	-17.0	-18.6	0.6	7.1	19.1	-5.1
売上	-1.3	-17.9	-8.5	6.9	5.4	9.6	-1.8
収益	-3.0	-18.1	-14.8	-3.8	0.4	12.8	-6.2

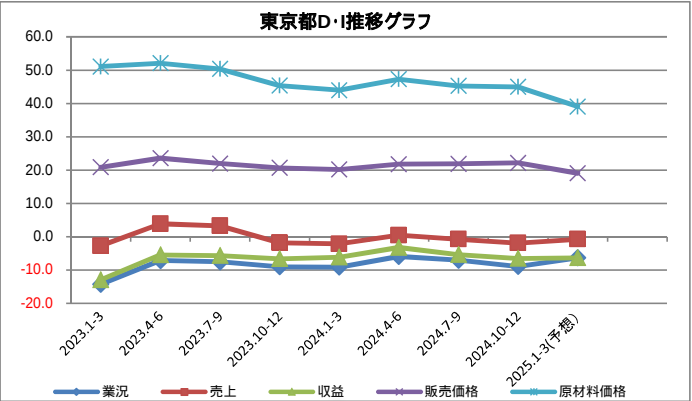
今期のコメント

製造業	業況はやや改善、売上はわずかに悪化、収益は改善
卸売業	業況はわずかに悪化、売上はやや改善、収益はわずかに悪化
小売業	業況はやや改善、売上はやや悪化、収益はわずかに悪化
サービス業	業況はわずかに悪化、売上はやや悪化、収益は悪化
建設業	業況は悪化、売上・収益ともに大幅に悪化
不動産業	業況は悪化、売上はやや悪化、収益はやや改善

製造業

東京都全体 調査先有効回答先数 2,079先

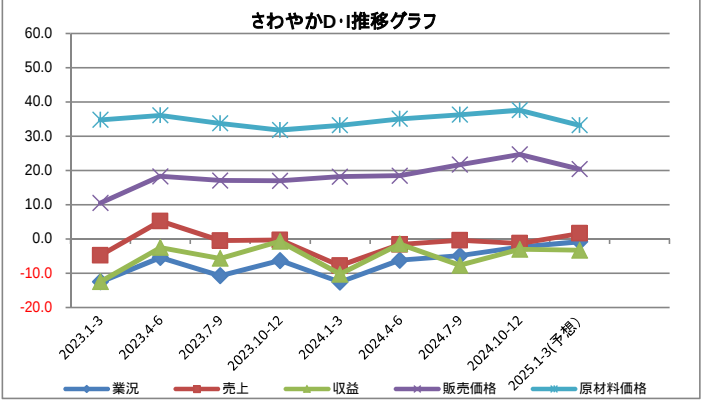
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-9.0	-9.1	-5.9	-7.0	-8.9	-6.3
売上	-1.8	-2.1	0.5	-0.7	-1.9	-0.7
収益	-6.6	-6.1	-3.2	-5.3	-6.5	-6.3
販売価格	20.7	20.2	21.8	21.9	22.2	19.1
原材料価格	45.4	44.0	47.3	45.3	45.0	39.1
借入実施	20.4	18.4	20.2	20.8	19.9	14.4
設備実施	15.4	15.6	15.6	17.1	16.6	17.3



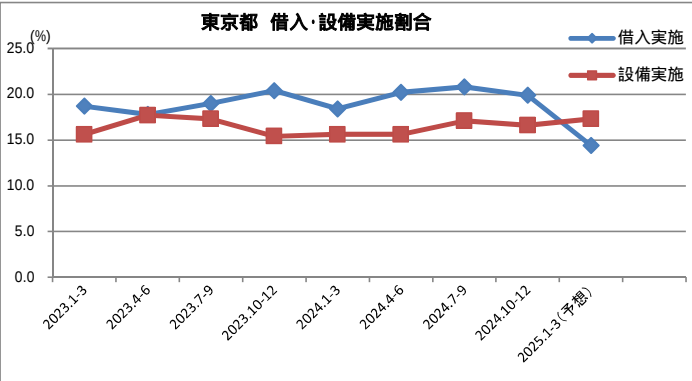
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに悪化し、以前としてマイナス水準である。
販売価格DIは前期同様の水準で22.2となり、原材料価格DIも前期同様の水準で45.0と高止まっている。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 172先

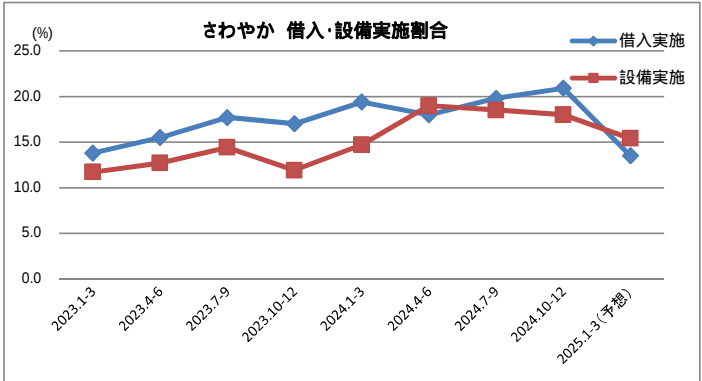
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-6.3	-12.6	-6.2	-4.9	-2.3	-0.8
売上	-0.3	-7.8	-1.6	-0.4	-1.3	1.6
収益	-0.7	-10.3	-1.5	-7.7	-3.0	-3.3
販売価格	17.0	18.2	18.5	21.7	24.7	20.4
原材料価格	31.8	33.2	35.1	36.3	37.6	33.2
借入実施	17.0	19.4	18.0	19.8	20.9	13.5
設備実施	11.9	14.7	19.0	18.5	18.0	15.4



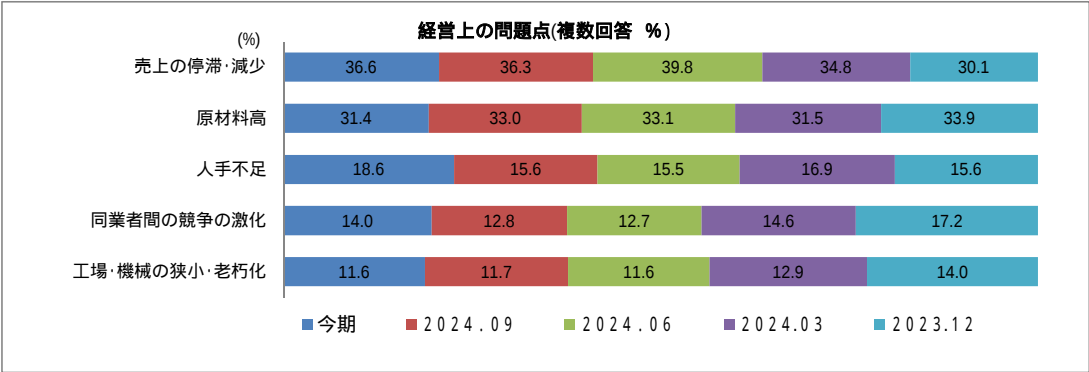
業況・収益DIは対前月比やや改善し、売上DIは対前月比わずかに悪化した。業況・売上・収益DIともにマイナス水準が続いている。
販売価格DIは対前期比やや上昇し24.7となり、原材料価格DIは対前期比わずかに上昇し37.6で推移した。原材料価格はわずかに上昇しているものの、「東京都全体」と比較してやや低水準である。



借入実施割合は対前期比わずかに減少し、2023年3月期から17%台～20%台で推移した。設備実施割合は今期16.6%と対前期比わずかに悪化した。



借入実施割合は今期20.9%と対前期比わずかに増加した。設備実施割合は今期18.0%と対前期比わずかに減少した。

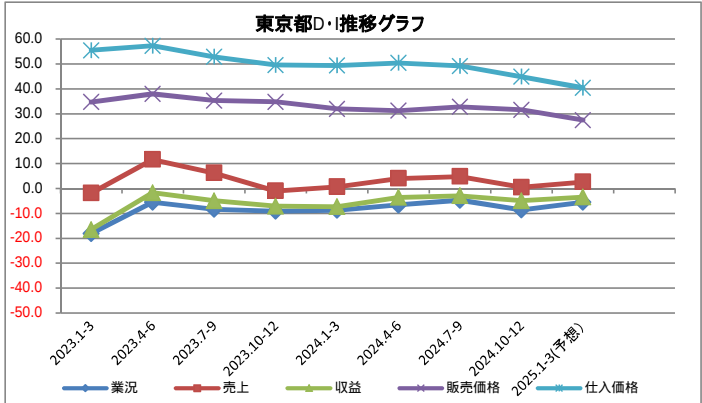


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き「売上の停滞・減少」の回答割合が高く36.6%となった。2位は「原材料高」(31.4%)の回答が続き、3位は「人手不足」(18.6%)となった。

卸売業

東京都全体 調査先有効回答先数 703先

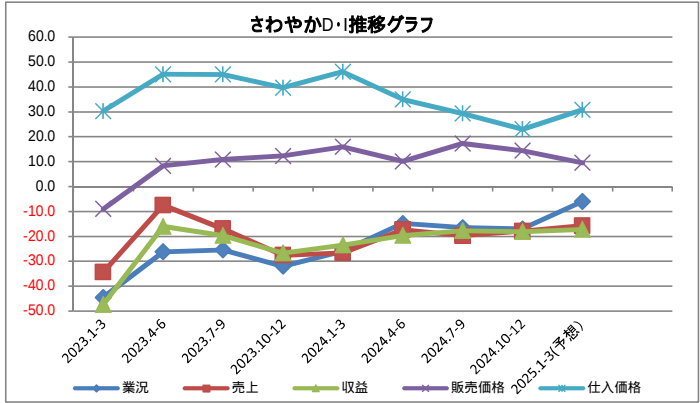
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-9.1	-8.7	-6.6	-4.7	-8.6	-5.5
売上	-1.0	0.7	4.0	4.8	0.5	2.6
収益	-7.1	-7.3	-3.6	-2.9	-4.9	-3.4
販売価格	34.8	32.0	31.3	32.8	31.6	27.5
仕入価格	49.6	49.4	50.4	49.2	44.9	40.4
借入実施	25.2	22.1	24.8	22.3	22.1	18.5
設備実施	15.8	16.1	17.0	18.1	18.9	17.4



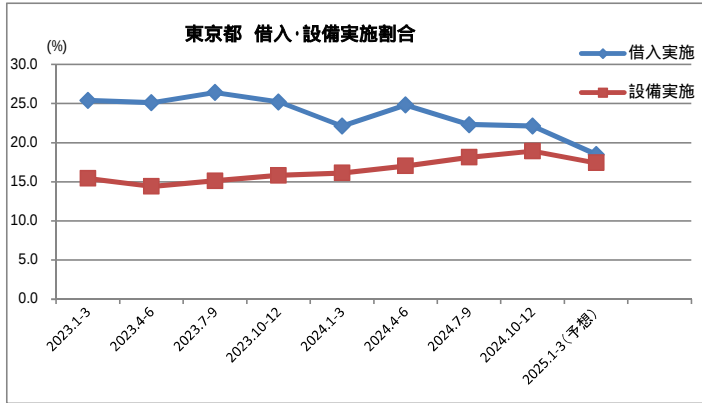
業況・売上・収益DIともに対前期比やや悪化した。業況・収益DIは依然としてマイナス水準となった。販売価格DIは対前期比わずかに減少し今期31.6となり、仕入価格DIは2023年6月をピークに低下傾向であるが、44.9と高止まりしている。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 36先

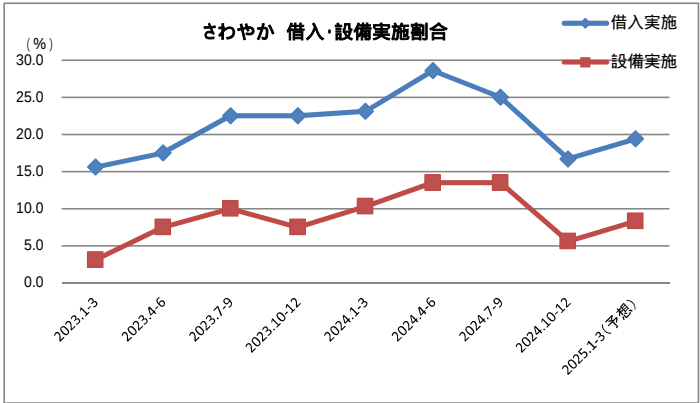
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-32.0	-26.0	-14.8	-16.5	-17.0	-6.0
売上	-27.6	-26.6	-17.3	-19.7	-17.9	-15.7
収益	-26.7	-23.5	-19.6	-17.7	-18.1	-17.2
販売価格	12.3	16.0	10.1	17.3	14.4	9.5
仕入価格	39.7	46.1	35.0	29.3	23.0	30.8
借入実施	22.5	23.1	28.6	25.0	16.7	19.4
設備実施	7.5	10.3	13.5	13.5	5.6	8.3



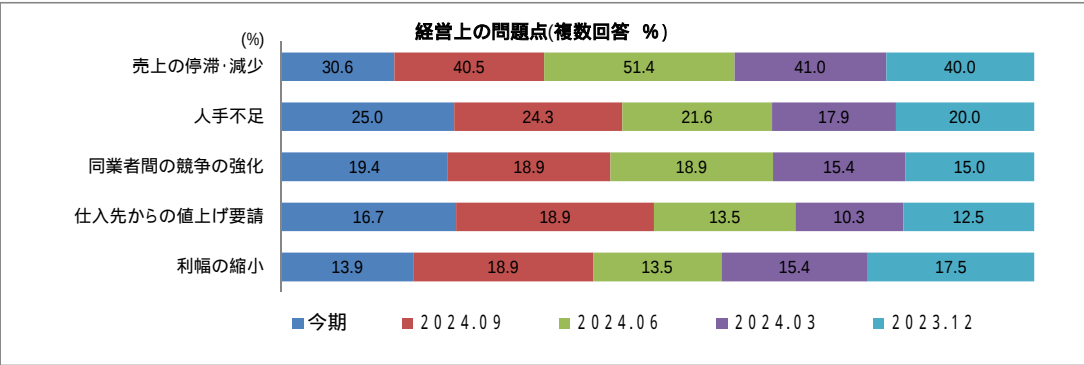
業況・収益DIは対前期比わずかに悪化し、売上DIは対前期比やや改善した。業況・売上・収益DIはともに依然としてマイナス水準となった。販売価格・仕入価格DIともに対前期比低下し、「東京都全体」と比較して、緩やかに推移している。



借入実施割合は2023年3月期から25%前後で推移しており、今期は前期比並で22.1%となった。設備実施割合は6期連続増加し、今期18.9%となった。



借入実施割合は対前期大幅に減少し、今期は16.7%となった。設備実施割合も対前期大幅に減少し5.6%となった。

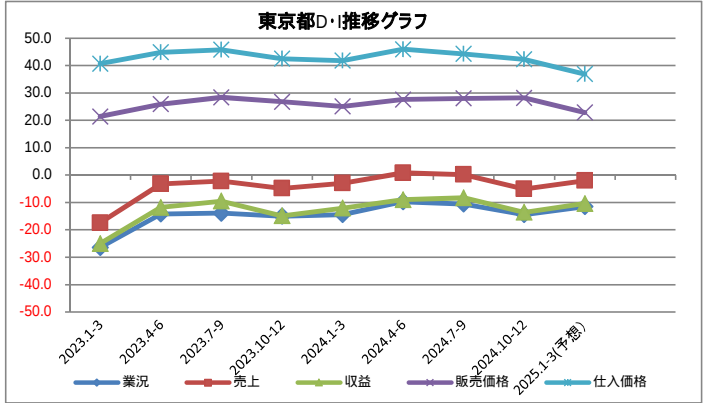


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き「売上の停滞・減少」の回答割合が高く30.6%となったが、2期連続回答割合は減少している。2位は「人手不足」(25.0%)の回答が続き、3位は「同業者間の競争の激化」(19.4%)となった。

小売業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,300先

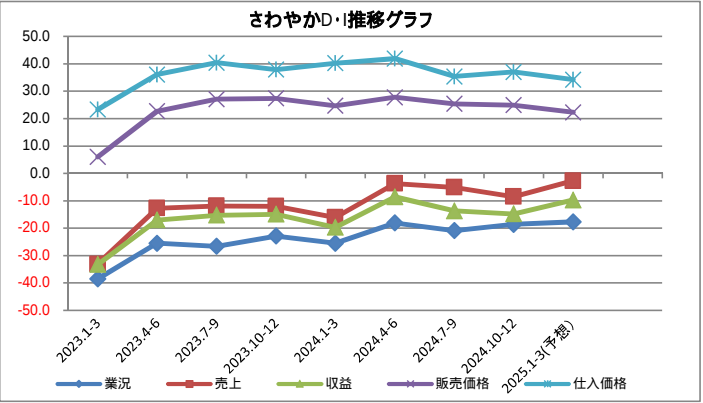
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-15.0	-14.4	-9.7	-10.6	-14.4	-11.5
売上	-4.8	-3.0	0.8	0.2	-5.1	-2.0
収益	-14.9	-12.1	-9.0	-8.3	-13.6	-10.4
販売価格	26.8	25.1	27.6	28.0	28.2	22.9
仕入価格	42.5	41.8	46.0	44.3	42.3	36.9
借入実施	10.0	8.5	9.8	9.5	9.5	6.6
設備実施	8.3	7.4	8.5	7.8	7.4	7.0



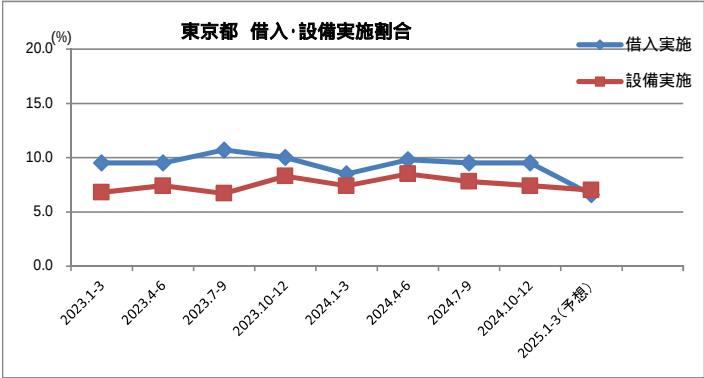
業況・売上・収益DIは対前期比悪化した。業況・収益DIは以前としてマイナス水準であり、売上DIは今期マイナス水準へ転じた。販売価格DIは前期比並であり、仕入価格DIはやや低下したが、42.3と高止まりしている。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 142先

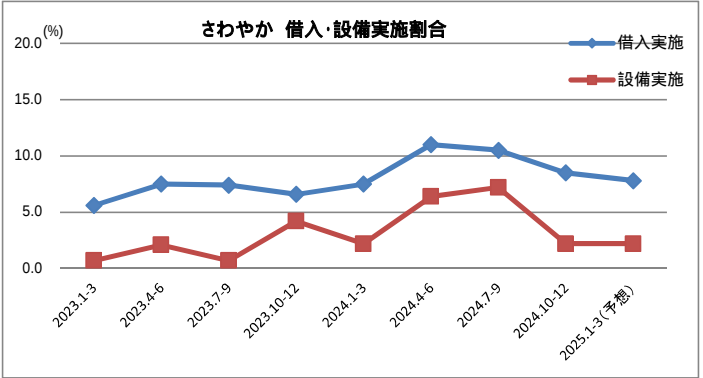
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-22.9	-25.5	-18.1	-20.9	-18.6	-17.7
売上	-12.0	-16.1	-3.7	-5.1	-8.5	-2.7
収益	-14.9	-19.7	-8.6	-13.7	-14.8	-9.7
販売価格	27.4	24.7	27.8	25.4	24.9	22.3
仕入価格	37.9	40.2	41.9	35.4	37.0	34.2
借入実施	6.6	7.5	11.0	10.5	8.5	7.8
設備実施	4.2	2.2	6.4	7.2	2.2	2.2



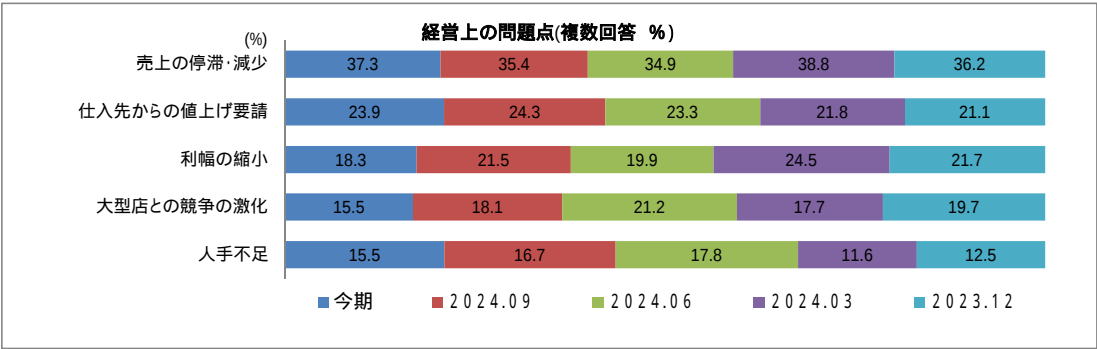
業況DIは対前期比やや改善し、売上・収益DIはともに対前期比やや悪化し、いずれもマイナス水準である。販売価格DIは対前期比わずかに低下し、仕入価格DIは対前比やや上昇した。「東京都全体」と比較して、販売価格・仕入価格ともにやや低水準となってきている。



借入実施割合は2023年9月期の10.7%をピークにして、その後8%台～10%台で推移した。設備実施割合は対前期比わずかに減少し、7.4%となった。



借入実施割合は対前月比やや減少し、今期8.5%となった。設備実施割合は対前期比減少し、今期2.2%となった。

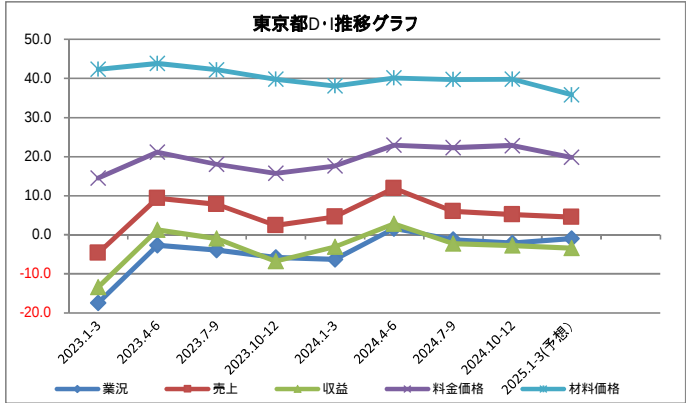


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く37.3%となった。2位の「仕入先からの値上げ要請」(23.9%)の回答が続き、3位は「利幅の縮小」(18.3%)となった。

サービス業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,158先

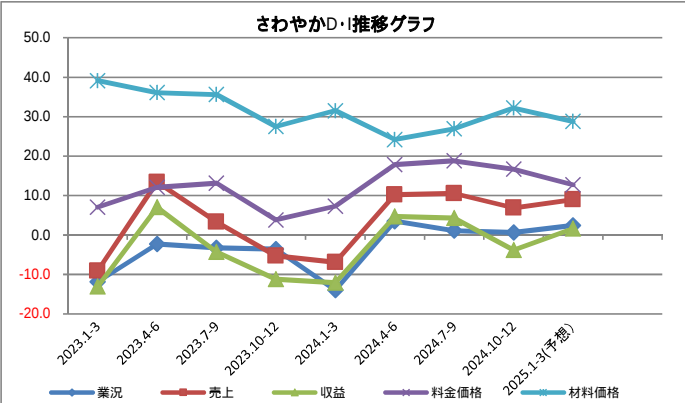
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-5.8	-6.3	1.6	-1.2	-2.1	-1.0
売上	2.4	4.6	11.9	6.0	5.2	4.5
収益	-6.8	-3.1	2.8	-2.3	-2.8	-3.4
料金価格	15.7	17.6	22.9	22.3	22.8	19.8
材料価格	39.8	38.1	40.1	39.7	39.8	35.8
借入実施	15.6	15.3	14.7	14.8	15.6	13.2
設備実施	16.7	18.4	19.2	18.1	18.3	18.4



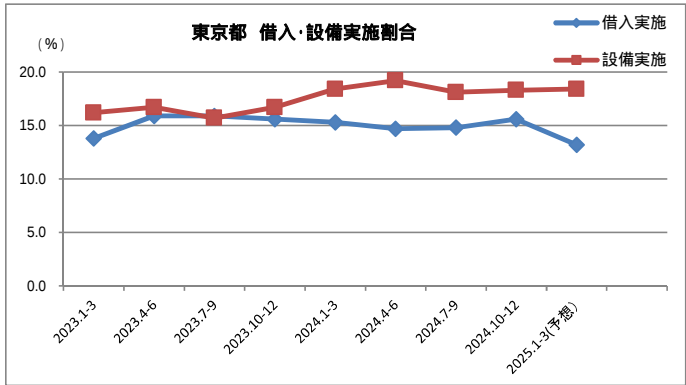
業況・売上・収益DIともに対前期比わずかに悪化し、業況・収益DIは以前としてマイナス水準である。料金価格DIは対前期比わずかに上昇し22.8となり、材料価格DIは前期並の上昇が続き39.8となった。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 80先

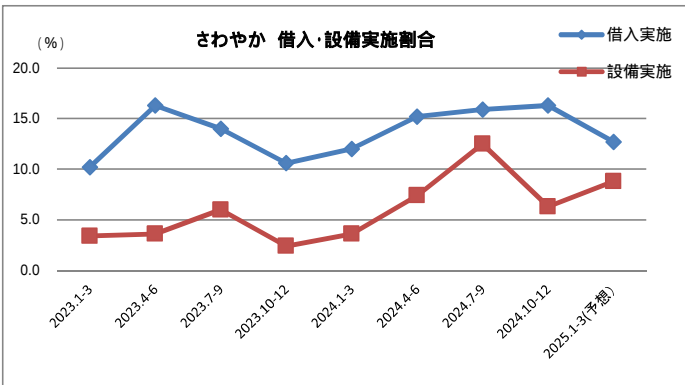
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	-3.6	-14.0	3.5	1.1	0.6	2.4
売上	-5.3	-6.9	10.2	10.5	6.9	9.0
収益	-11.2	-12.1	4.7	4.3	-3.8	1.6
料金価格	3.8	7.3	17.8	18.8	16.7	12.7
材料価格	27.5	31.5	24.2	26.9	32.2	28.8
借入実施	10.6	12.0	15.2	15.9	16.3	12.7
設備実施	2.4	3.6	7.4	12.5	6.3	8.8



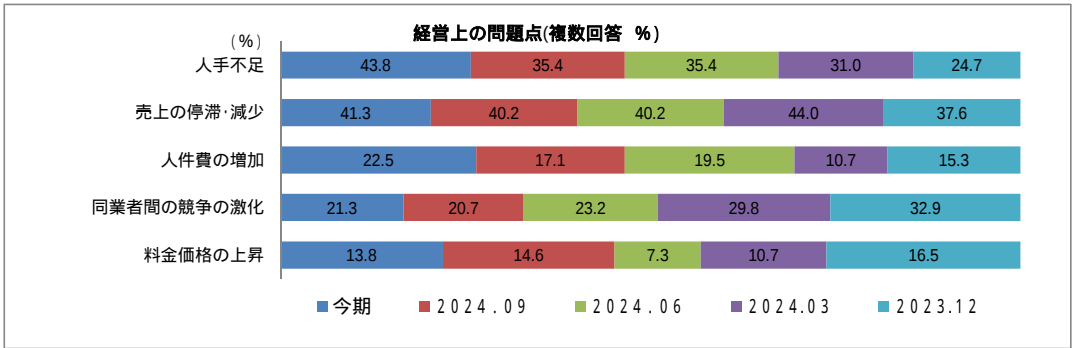
業況・売上DIは対前期比やや悪化し、収益DIは大幅に悪化した。収益DIはマイナスへ転じた。料金価格DIは対前期比やや低下し、材料価格DIは対前期比上昇した。「東京都全体」と比較して、料金価格・仕入価格ともにやや低水準で推移している。



借入実施割合は2023年6月期から15%前後で推移した。設備実施割合は対前期比わずかに増加し、今期18.3%となった。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、今期16.3%となった。設備実施割合は対前期比減少し、今期6.3%となった。



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期2位の、「人手不足」の回答割合が高く43.8%となった。2位は「売上の停滞・減少」(41.3%)の回答割合が続き、3位は「人件費の増加」(22.5%)となった。

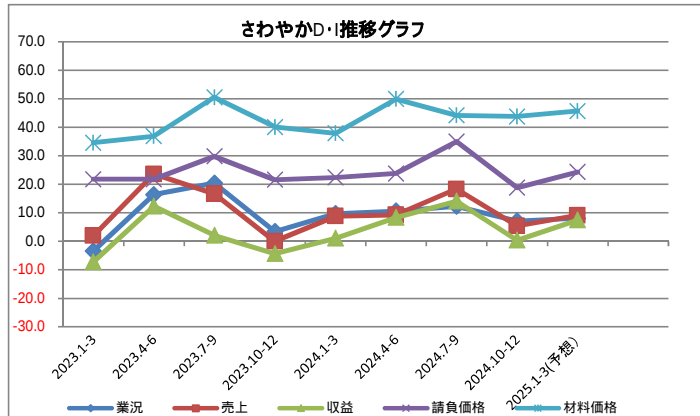
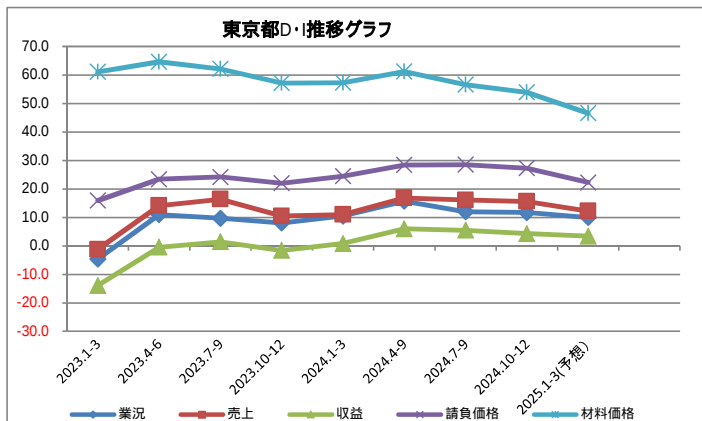
建設業

東京都全体 調査先有効回答先数 998先

	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	8.1	10.5	15.7	12.0	11.7	10.0
売上	10.5	11.0	16.8	16.1	15.6	12.2
収益	-1.6	0.8	6.0	5.5	4.3	3.4
請負価格	22.0	24.5	28.4	28.5	27.3	22.3
材料価格	57.2	57.3	61.2	56.6	53.9	46.6
借入実施	27.4	25.2	24.7	25.7	25.3	19.6
設備実施	17.2	17.1	18.4	17.5	18.4	16.4

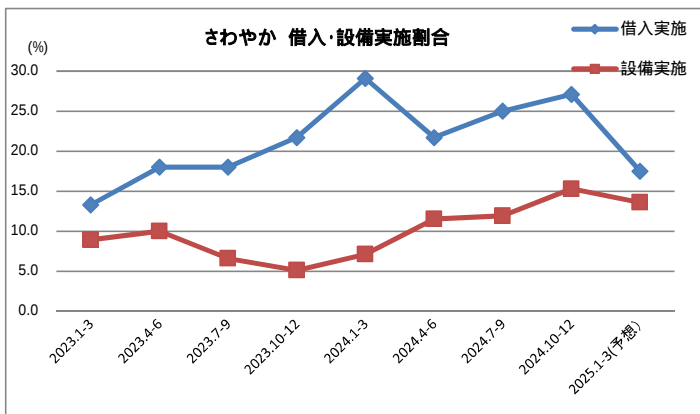
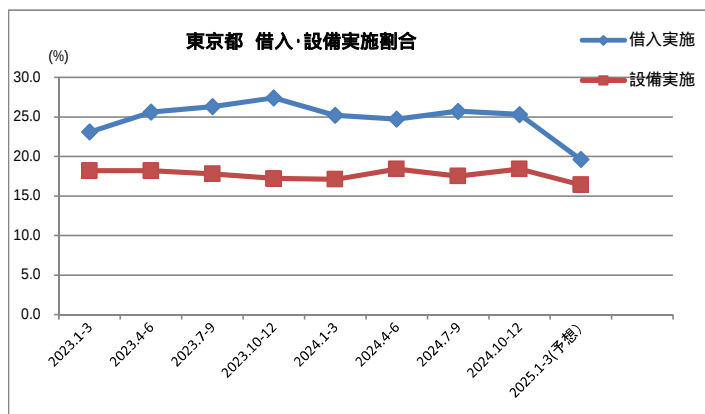
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 59先

	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	3.4	9.7	10.6	12.3	7.1	8.1
売上	0.0	8.8	9.3	18.3	5.4	9.1
収益	-4.3	1.1	8.4	14.1	0.4	7.5
請負価格	21.6	22.4	23.8	35.0	18.8	24.3
材料価格	40.1	37.9	49.9	44.2	43.8	45.7
借入実施	21.7	29.1	21.7	25.0	27.1	17.5
設備実施	5.1	7.1	11.5	11.9	15.3	13.6



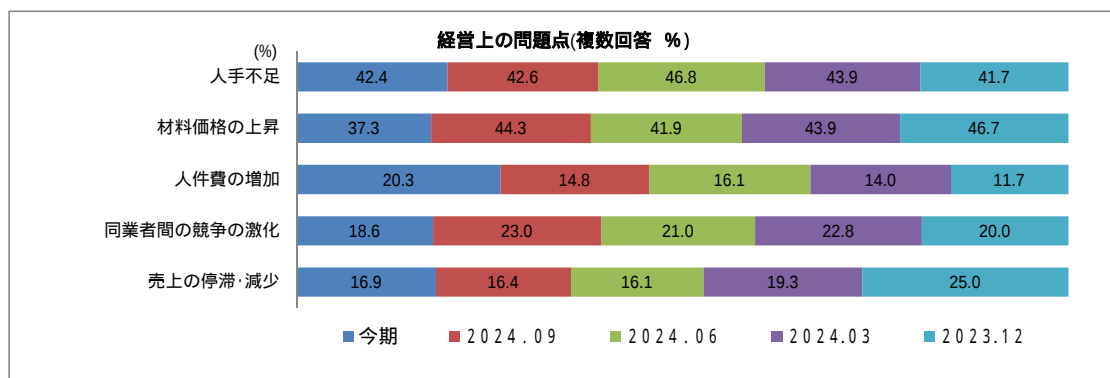
業況・売上・収益DIはともに対前期比わずかに悪化した。
請負価格・材料価格DIはともに対前期比わずかに低下したが、材料価格DIは53.9と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに対前期比悪化した。
請負価格DIは対前期比大幅に低下し、18.8となり「東京都全体」より低水準となった。材料価格DIは対前期比わずかに低下し、「東京都全体」と比較して低水準で推移している。



借入実施割合は2024年3月期から25%前後で推移し、今期は対前期比わずかに減少し、25.3%となった。
設備実施割合は2023年3月期から17%台～18%台で推移した。

借入実施割合は対前期比やや増加し、今期27.1%となった。
設備実施割合は対前期比やや増加し、今期15.3%となった。

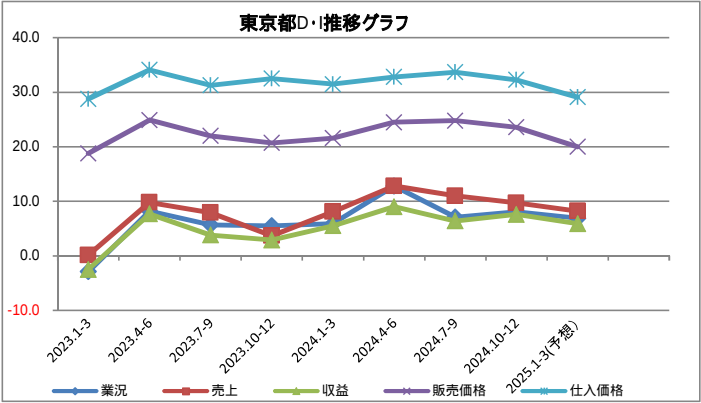


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期2位の「人手不足」(42.4%)の回答割合が高かった。2位は「材料価格の上昇」(37.3%)の回答割合が続き、3位は「人件費の増加」(20.3%)となった。

不動産業

東京都全体 調査先有効回答先数 575先

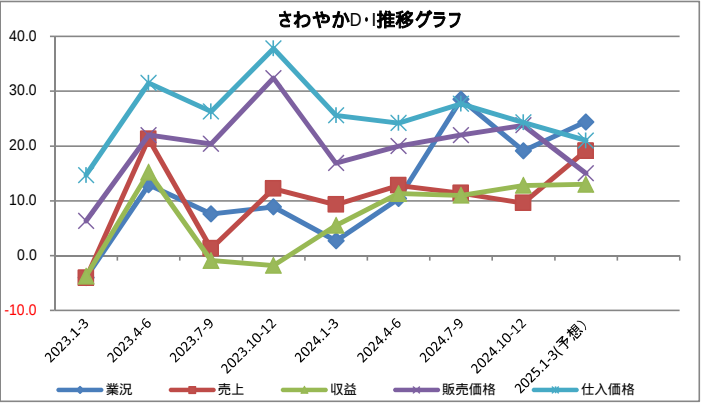
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	5.5	5.9	12.8	7.1	8.1	6.9
売上	3.7	8.1	12.8	11.0	9.7	8.2
収益	2.9	5.5	9.0	6.4	7.6	5.9
販売価格	20.7	21.6	24.5	24.8	23.6	20.0
仕入価格	32.5	31.5	32.8	33.7	32.3	29.1
在庫数量	-11.9	-12.3	-12.6	-11.4	-9.7	-8.6
資金繰り	2.4	1.1	3.7	0.8	0.4	0.2



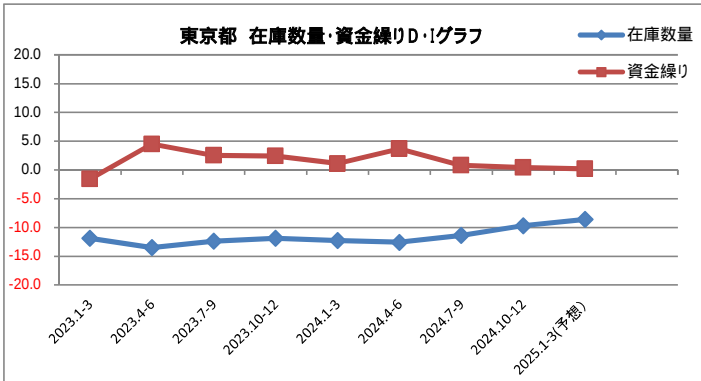
業況・収益DIはともに対前期比でわずかに改善し、売上DIはわずかに悪化した。販売価格DIは対前期比わずかに低下し、今期は23.6となった。仕入価格DIも対前期比わずかに低下し、今期は32.3となった。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 28先

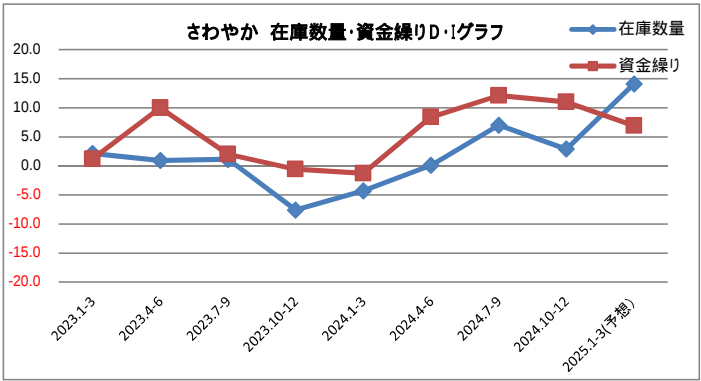
	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 (予想)
業況	8.9	2.7	10.4	28.5	19.1	24.4
売上	12.2	9.3	12.8	11.4	9.6	19.1
収益	-1.8	5.5	11.3	11.0	12.8	13.0
販売価格	32.4	16.9	20.0	22.0	23.8	15.0
仕入価格	37.8	25.6	24.2	27.7	24.3	21.0
在庫数量	-7.6	-4.3	0.1	7.0	2.9	14.1
資金繰り	-0.6	-1.3	8.4	12.1	11.0	6.9



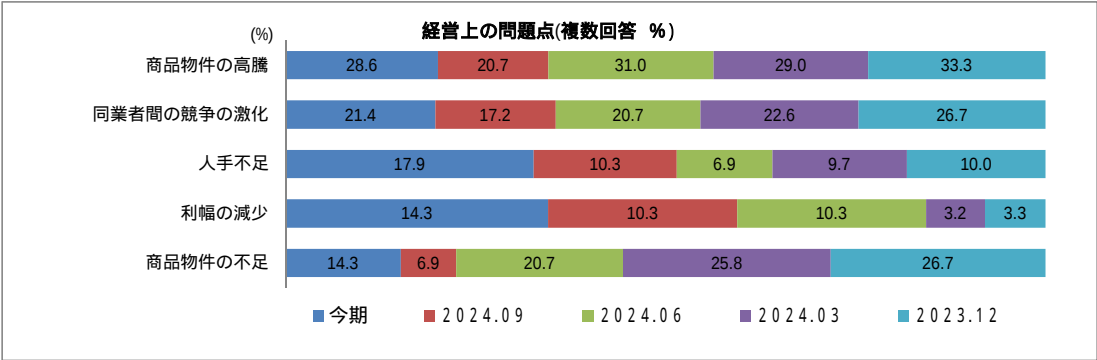
業況DIは対前期比悪化し、売上DIも対前期比わずかに悪化した。収益DIは対前期比わずかに改善した。販売価格DIは対前期比わずかに上昇し、仕入価格DIは対前期比やや低下した。仕入価格DIは上昇低下を繰り返し、「東京都全体」と比較してやや低水準で推移している



在庫数量DIは対前期比わずかに増加したが、9.7と以前としてマイナスで推移した。資金繰りDIは今期0.4と対前期比ではわずかに悪化した。



在庫数量DIは対前期比やや減少し、今期2.9となった。資金繰りDIは対前期比わずかに悪化し、今期11.0となった。

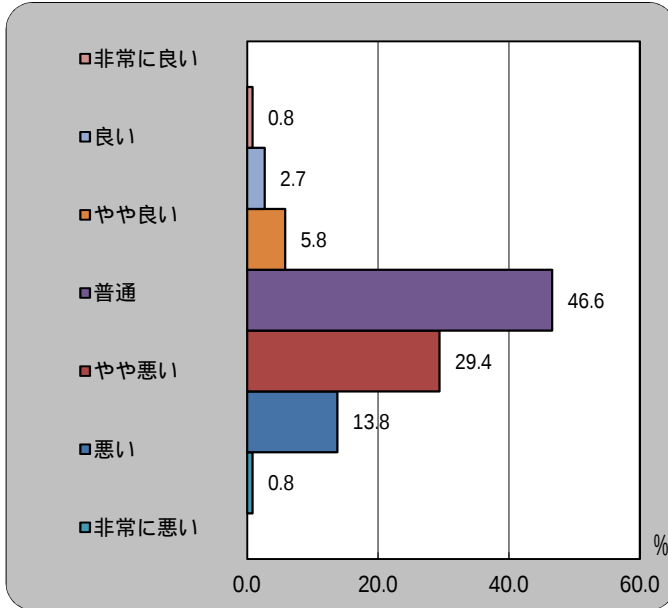


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「商品物件の高騰」の回答割合が高く28.6%となった。2位は「同業者間の競争の激化」(21.4%)の回答が続く、3位は「人手不足」(17.9%)となった。

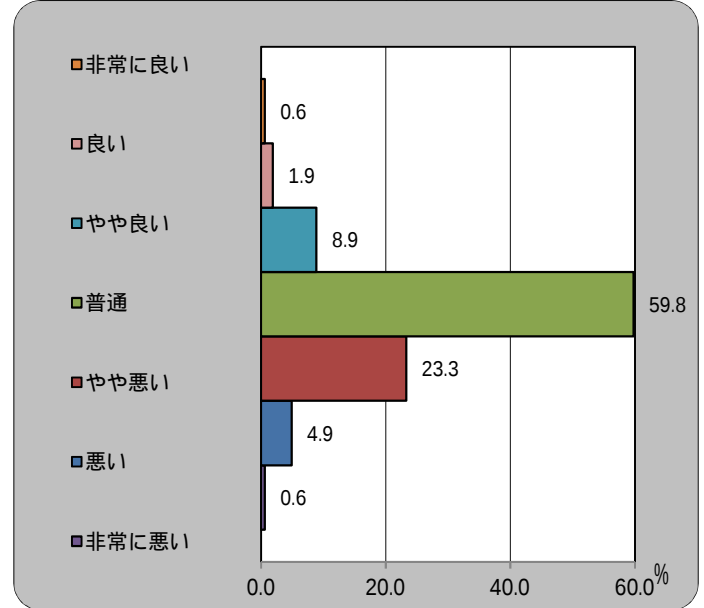
特別調査：2025年(令和7年)の経営見通し

(さわやか信用金庫・アンケート回答 515先)

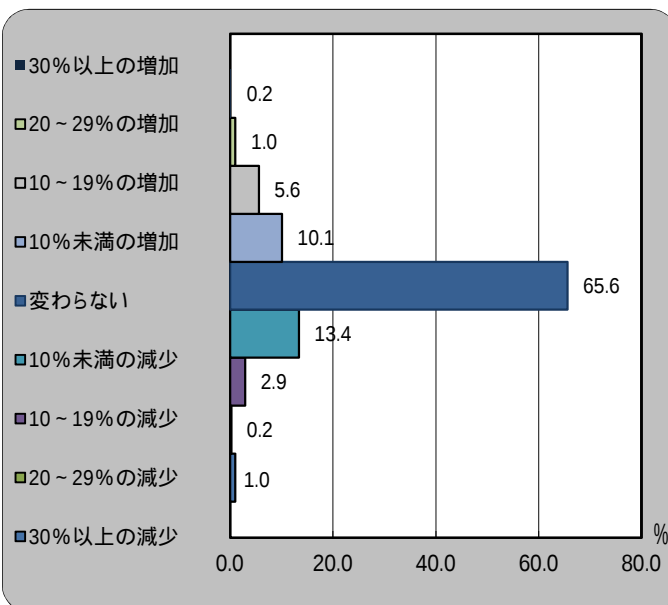
2025年(令和7年)の景気見通し



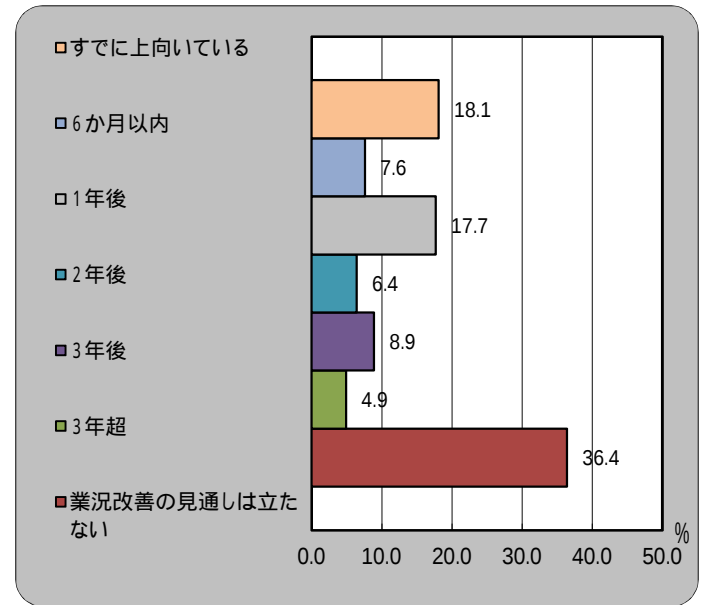
2025年の自社の業況(景気)見通し



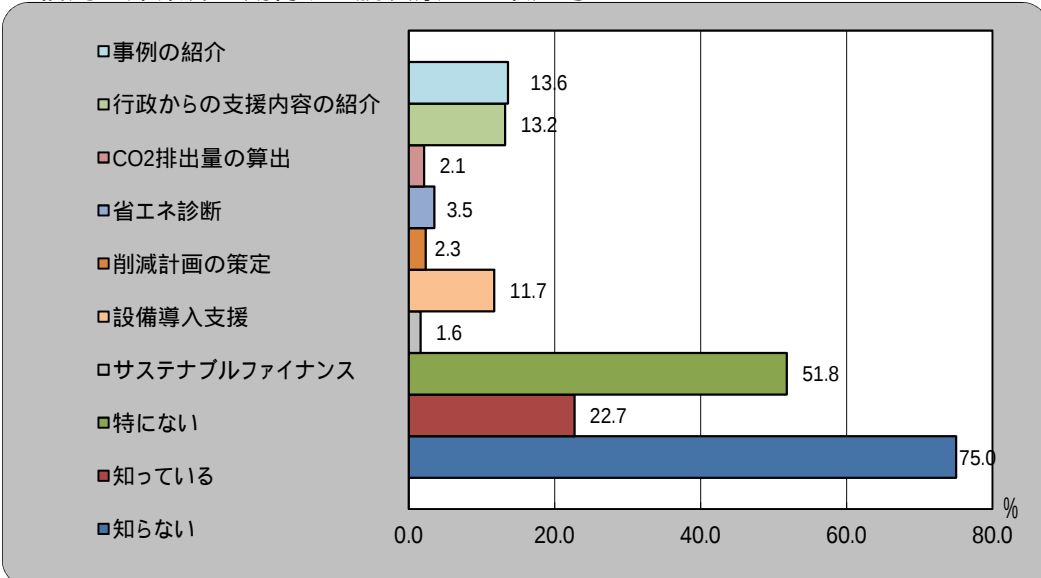
2025年の売上額伸び率見通し



自社の業況が上向く転換点の見通し

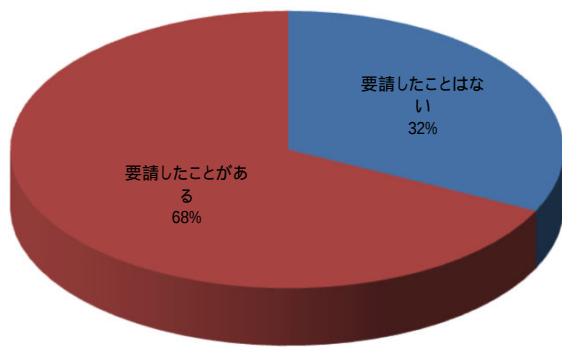


信用金庫業界に期待する脱炭素への取組等

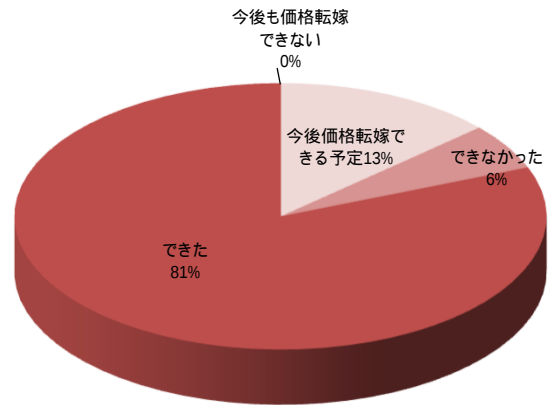


さわやか信用金庫 独自調査 (さわやか信用金庫・アンケート回答 505先)

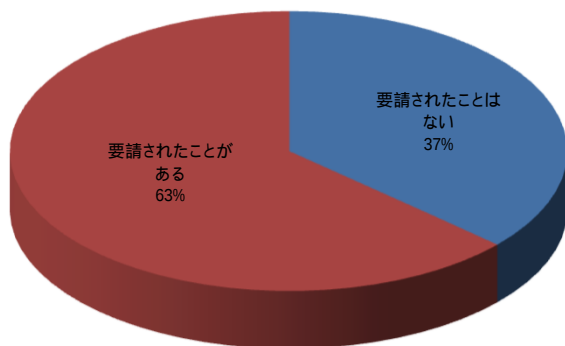
商品、サービスを販売するにあたり価格転嫁を要請したことがありますか。



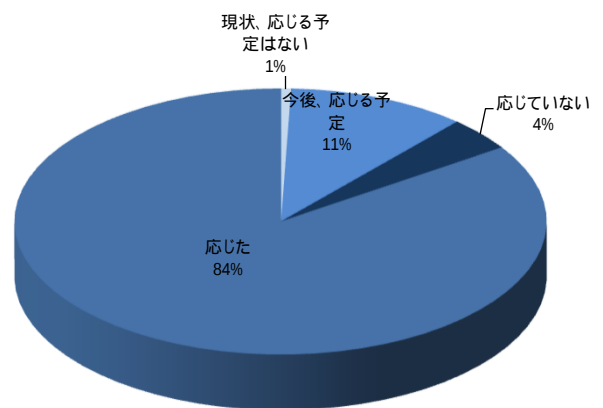
要請した際に、価格転嫁できましたか。
(問1で“ある”と回答した方のみ)



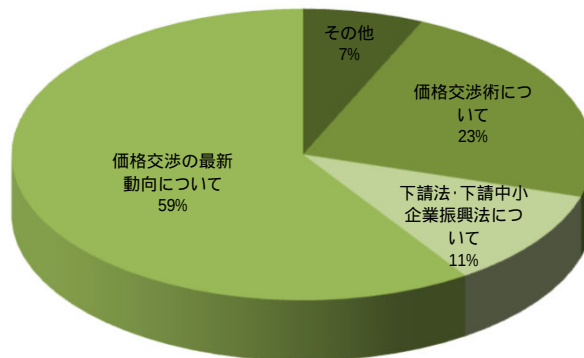
商品サービスを購入するにあたり価格転嫁を要請されたことがありますか。



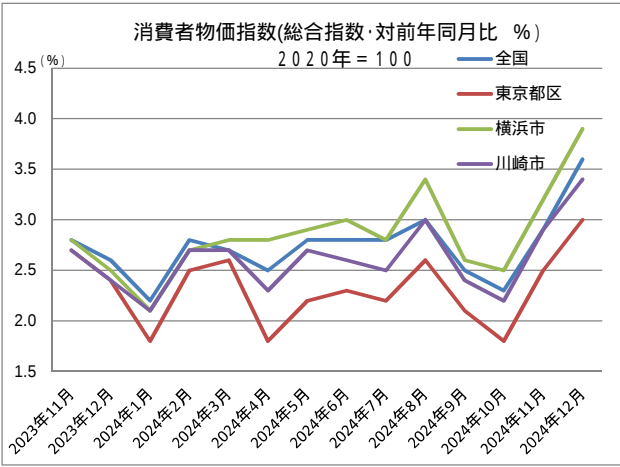
要請された際に、価格転嫁に応じましたか。(問3で“ある”と回答した方のみ)



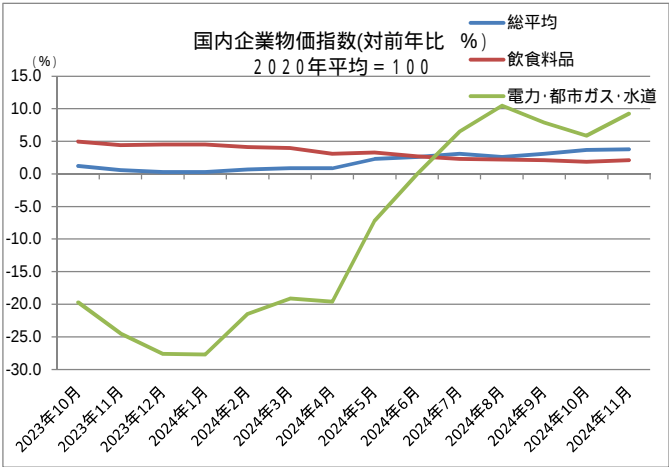
価格転嫁についてどのような情報が知りたいですか。



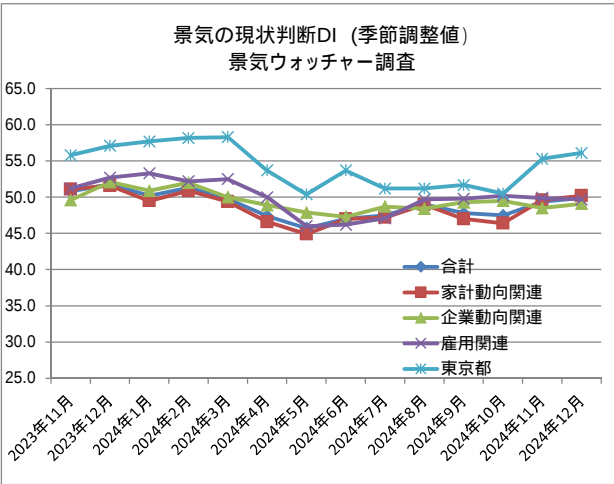
各種統計指数



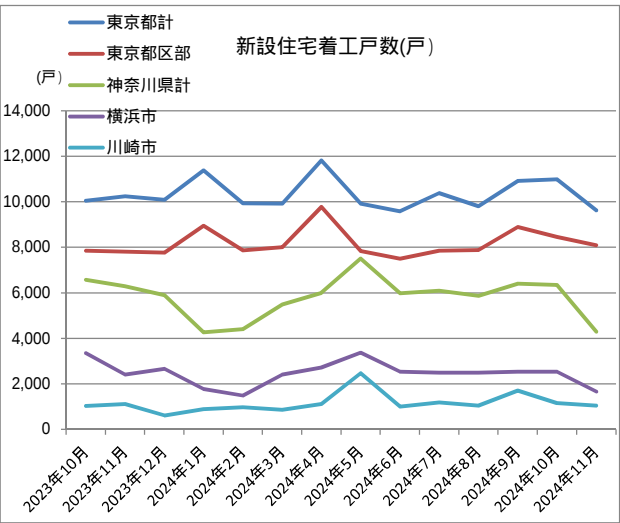
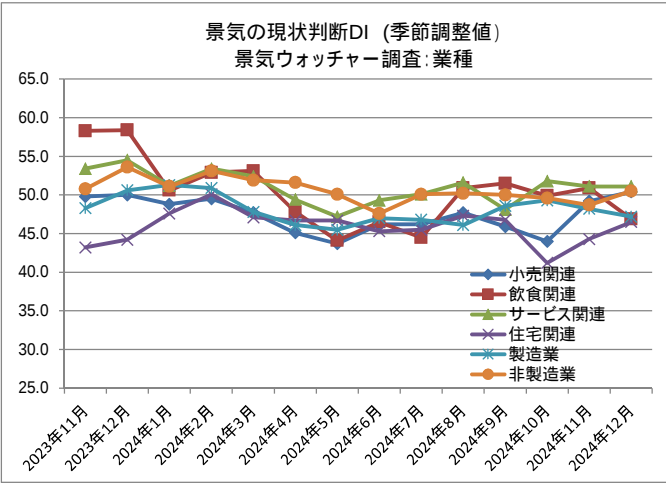
(出典: 総務省統計局)



(出典: 日本銀行)



(出典: 内閣府)



(出典: 国土交通省・東京都・神奈川県)

内閣府月例経済報告/基調判断の変化	
2024年1月	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年2月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年3月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年4月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年5月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年6月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年7月	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2024年8月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2024年9月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2024年10月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2024年11月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
2024年12月	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。

(出典: 内閣府)

さわやか信用金庫 コンサルティングセンターからのご案内

次世代経営者・幹部向け講座

さわやか塾

【さわやか塾】とは...

企業は「環境適応業」。強い企業ではなく、環境に適応できた企業が生き残る、これが経営の原理原則です。2020年からのコロナ禍にあって、新しい顧客の創造が停滞し、顧客数が伸び悩んでいる企業が多く見られます。そんな不確実性の高い経営環境において、従来のビジネスモデルから新たなビジネスモデルを再構築することが必要不可欠です。

- 当塾は、経営の基本に着眼し、『体系的な経営の基本の体得と時代を生き抜く先見性』を磨くことを目的としています。また、勉強会の開催のみならず、各種経営情報の提供を加え、総合的に皆様の経営活動をご支援させていただきます。
- 異業種の次世代経営者、幹部の方々が集まる当塾で新たな交流の場としてもご活用頂けます。
- 次世代経営者として具備すべき条件は、「決断力」「統率力」「実行力」の総合力発揮といわれております。

決断力 - 本物と本質を見抜く能力

統率力 - 自分より優れている能力を持つ人々を部下として、自在に動かす力

実行力 - 意志力と行動力であり、究極は自力開発即ち自己啓発と健康管理

- 志高く向上心ある若手経営者、後継者・経営幹部の皆さまのご参加をお待ちしております。

当塾は、経営コンサルティング企業の㈱タナベコンサルティング（プライム市場上場）と提携し塾生の経営支援を行って参ります。

実施要領		申込要領	
対象者	若手経営者、後継者、経営幹部の皆様	お申込方法	別紙 入会申込書にご記入のうえ、担当者にお渡し下さい。受講料は、後日ご請求させていただきます。
期 間	2025年5月から1年間	お申込期限	2025年3月31日（月）
募 集 人 数	20名 （定員に達し次第、締切とさせていただきます。）	お問合せ お申込先	さわやか信用金庫 コンサルティングセンター内 「さわやか塾」事務局 〒144-0047 東京都大田区萩中 2-2-1 TEL：03-3742-0626 FAX：03-3742-0724
受講料	お一人様 ￥93,500（税込） 領収書につきましては発行日は5月1日以降となります。		

夢と未来のサポーター



さわやか信用金庫

